

7月号の天気コラム

長い昼間を有効に

今月 21 日に夏至を迎えます。今は昼間の時間が一年中で最も長い時期です。例えば、今日の北海道根室市の日の出は午前 3 時 37 分、福岡市の日の入りは午後 7 時 31 分です。例年、今ごろは各地で梅雨空が続き、昼間の長さを実感できないことも多いのですが、今日 (17 日) は、北海道から九州にかけて広く晴れる見込みです。長い昼間の時間を有効に活用しましょう。

* 『季節と暮らす 365 日 (日本気象協会編、アリス館)』より

会報閲覧室 (玉造連盟事務所)

『兵庫労山』2017年6月号・No.449 兵庫県勤労者山岳連盟／19頁

毎月、各会から会報や府県連盟ニュースが連盟事務所に届けられています。この会報・ニュースは、いつでも閲覧できるように連盟事務所 (玉造) の会報閲覧コーナーに置いています。いつでも是非ご覧ください。

今回もう一度、兵庫県勤労者山岳連盟の機関誌のことを。兵庫県連から今月も機関紙 (兵庫労山) を送っていただきました。平均 20 ページのコンパクトな冊子、今月号も美しい表紙・裏表紙に一目ぼれです。裏表紙は連載の「野鳥との出会いNo.8」で、翡翠 (カワセミ) の写真に顛末のコメントと俳句 (翡翠が掠めし水のみだれのみ・中村汀女) の編集に楽しく拝読させていただきました。また、各会の機関誌などを紹介している「TERRASSE」のコーナーも、兵庫労山の会の活動が伝わってきます。大阪労山ニュース掲載の春の戦跡ハイキングの企画が紹介されていました。「なぜ会員を増やすのか」「組織を大きくするのか」を考える、の記事も 4 つの会の報告がうまくまとめられ、大阪労山での組織拡大への課題にも刺激を与えてくれそうです。兵庫労山の機関誌を手にして機関紙活動の楽しさを知る、この二か月でした。みなさんも一度、『兵庫労山』をご覧ください。

7月、この一冊を 『南極越冬記』 (西堀榮三郎、岩波新書)

高校時代、南極に憧れて一息に読んだ西堀氏の『南極越冬記』、今また人気のようด้วย岩波書店から復刻され読み返してみました。氷雪と烈風の南極大陸に、日本人として最初の越冬事業をなしとげた西堀越冬隊長の記録です。厳しい自然の中で生活した 365 日、科学者の知性と勇気に触れ、また楽しい日々の出来事が今でも私たちに励ましを与えてくれます。なお、当時の隊員の村越望氏は、現在登山界の読図指導で活躍されている村越真 (静岡大) の父で、南極気象観測の担当として活動され、いつも西堀氏のそばで実験を手伝っていたそうです。

◇編集後記◇

今回の編集後記はパターンを変えて夏山ハイキングセミナーの交野山のことを。6月4日（日）、夏山ハイキングセミナー受講生と交野山へ、読図実技を兼ねて連盟クリーンハイキング&自然観察への参加でした。今回の読図は、6月の菊水山の読図実技に参加できなかった受講生も実践できるようにと配慮され、スタッフもマンツーマンの配置されて取り組まれました。読図は3班に分かれ、「読図は受講生だけで進んだのが面白かった」と菊水山とは違った読図の楽しさがあったようです。とくに変貌する市街地での読図は難解（地形図旧版は追いつかない）、交野山直下の谷や尾根を読むのにスタッフも一苦勞でした。それでも交野山の一日、歩行7時間もの激闘(?)をこなし、楽しい読図を振り返っていました。交野山での集合写真はみんな笑顔でとてもいい表情をしています（大阪労山ニュース裏表紙写真）。

交野山の読図、受講生の中村光江さん（大西班）の感想文を紹介しておきましょう。

「6月4日（日）夏山ハイキングセミナーの山行き実技の1つとして、交野山に連れていただきました。今回の目的はクリーンハイク、自然観察と、読図の復習です。JR 津田駅前に集合、3班に分かれて、我が班は準備体操してコンパスの使い方、地形図の読み方を手取り足取り丁寧に教えていただきました。その後、目的地を交野山と定めて、リーダーやコーチからセミナー生3名に、順番に地形図を見ながら先頭に立って歩いてくださいと指導がありました。座学で読図を学んである程度の知識があり、地形図から地形がよくわかり地形図を見ながら歩くのがすごく楽しくなりました。地形図と周りの景観とを交互に見て、とても胸がわくわく躍るものを感じました。交野山からの山座同定では、山や学校・駅などの目標物が手に取るように確認できました。駅で集まった時は、日差しが強くて暑かったのですが、緑の木々が生い茂る中に入ると、木漏れ日がやわらかくて、そよ風が私たちの身体をそっと通り抜けていくのでとても涼しくて心地よかったです。昼食は白旗池広場、多くの山の会の方々が集まって楽しく交流できました。山岳会・ももんがの方からデザート、炭酸ソーダにフルーツを御馳走になりました。暑さでほてっていた身体の中をひんやりとしたものが通り抜けていって気持ちが良かったです。今回も、コーチやリーダー、スタッフ、仲間の皆様から筆談ボードなどで助けられて、楽しくて有意義な1日を過ごさせていただきました。皆様、本当にありがとうございました。

第24期夏山ハイキングセミナー生 中村光江・カランクルン山の会」

今月も各会より会報を送っていただきました。

安治川山の会ニュース（安治川山の会）、やまなかま（泉州労山）、きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぼんぼん山（高槻）、奈良県連ニュース滋賀県連ニュース、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、HCかざぐるま、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）、明昭（西宮明昭山の会）

編集・発行 入澤、大西秀、笠井、園、高橋、中井、中尾、大西清
